

日向東臼杵南部 広域連合だより

構成団体 日向市 門川町 美郷町 諸塚村 椎葉村

ホームページ：http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/rengo

【第16号】

平成20年10月発行

日向東臼杵南部広域連合

〒883-0034

日向市大字富高2192

TEL(0982)53-3401

FAX(0982)52-7889

住民福祉のさらなる向上をめざします

広域連合の組織や役職は規約で定めています。そのうち広域連合を代表する広域連合長は、構成市町村の市町村長の中から選挙により選ぶことになっていきます。

広域連合長の任期満了に伴い去る3月31日に広域連合長選挙を行いました。第3代の広域連合長として、黒木健二日向市長が選ばれました。

第3代広域連合長

黒木健二
(日向市長)



ごあいさつ

この度、第3代の広域連合長として選任をいただきましたことを大変光栄に存じますとともに、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

早速、本年度からは、清掃センター焼却施設の更新

等の検討も予定されており、引き続き、広域連合の充実・発展と圏域の連携強化に向け決意を新たにしているところです。

地方行政を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中、本広域連合といたしましても、圏域5市町村の連携と協調のもとに、事務事業の円滑な推進を図り、住民福祉の向上に努力して参る所存でありますので、引き続き、ご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



清掃センター 年間3万トンあまりの燃やせるごみを焼却処理しています。



日向地区斎場東郷霊苑 平成17年4月に供用開始しました。



～ 主な内容 ～

P2 平成19年度のごみ処理量 450トン減量！

P3 平成19年度決算（見込み）

P4 議会だより

年末のごみの搬入



秋の香り、きんもくせい

燃やせるごみの処理量

平成19年度 3万千二百トン

対前年度比 約450トン減少

燃やせるごみの処理量

対前年度比 約450トン減少

広域連合清掃センターでは、構成市町村（日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）の燃やせるごみを処理しています。平成19年度のごみの処理量がまとまりました。

ちりも積もれば

一人一日当たり909グラム

清掃センターに搬入された燃やせるごみは年間3万千二百トン（表1）でした。この量を一人一日当たり換算すると、909グラム（表2）、年間の排出量は、一人当たり、331キログラムにもなります。

市町村別にみると、日向市では一人一日当たり1,003グラム。燃やせるごみの処理量が少ない町村と比べると約3倍の量です。

ごみの排出量が少ない諸塚村、椎葉村では既にごみ処理の有料化に取り組んでいます。また美郷町においても、ごみの排出量を低く抑えています。

それぞれの自治体の施策の効果が現れているのではないかと思います。

ごみの中身をのぞいてみると

清掃センターでは、ごみ質試験を実施しています。過去3年間の平均値をまとめました（図）。一番多かったのが紙・布類で53パーセント。次いでビニール類24パーセント、木・わら類16パーセント、厨芥類（生ごみ類など）が7パーセントでした。このことから、燃やせるごみの中に含まれる紙ごみが資源としてもつとリサイクルされたら、ごみの量はもつと減らせます。

また、清掃センターへ搬入されるごみのうち、年間1,340トン余り、全体の4・2パーセントになるのが草や樹木の剪定の木く

ずです。少し乱暴な計算ですが、焼却処理費用に換算すると、約一千七百万円にも。減量化や資源化への構成団体の努力が待たれます。

もつと資源化を

広域連合は五年間ごとの事業推進の具体的な目標を「広域計画」で定めています。

この中で、各市町村で異なるごみの資源化を統一し、燃やせるごみの減量を目標に掲げています。

表1 年間ごみ処理量の比較

(単位: トン)

市町村別	年度	平成19年度	平成18年度
日向市		23,130	23,492
門川町		6,616	6,580
美郷町		810	861
諸塚村		259	294
椎葉村		393	435
合計		31,208	31,662 ※

※H18年度の処理量合計は、美郷町西郷区及び椎葉村の各施設での処理量（815トン）を含む。

ごみ質の分析
(平成17～19年度平均)

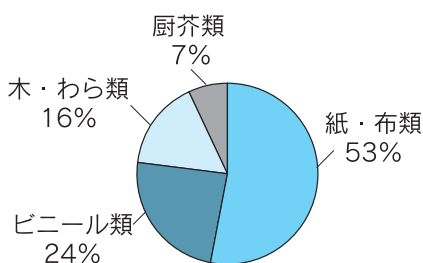


表2 1人1日当たりの燃やせるごみの処理量

(単位: グラム)

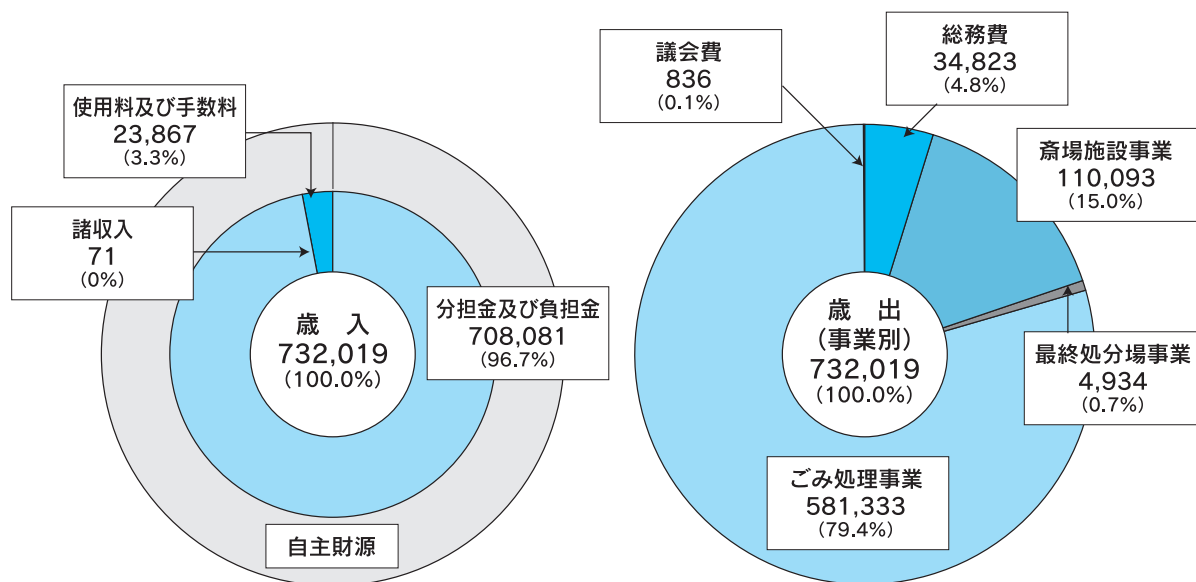
市町村別	年度	平成19年度	平成18年度
日向市		1,003	1,017
門川町		952	942
美郷町		339	353
諸塚村		362	396
椎葉村		325	349
全体		909	918

今後は、燃えるごみに含まれている資源物の分別や資源化を進め、燃やせるごみの量を減らすことが課題です。今後も各市町村と協力しながら一層のごみ減量化に取り組めます。

平成19年度の決算（見込み）がまとまりました。

広域連合は、市町村（構成団体）が共同して事務処理を行う特別地方公共団体です。
経費のほとんどは、構成市町村が負担する「分担金」で賄われています。

決算額は、歳入歳出総額約7億3千2百万円で、18年度と比べ5千5百万円の増額でした。
決算は、11月議会で審議されます。（単位：千円、パーセント）



平成19年度の市町村別・事業別分担金の内訳

広域連合が行う火葬場、最終処分場、ごみ処理施設の管理・運營業務に対して構成市町村が、平成19年度 6億1千2百万円の分担金を負担しました。（単位：千円）

区分	一般管理費	斎場 (運営)	斎場 (建設)	最終処分場	ごみ (運営)	ごみ (建設)	合計
日向市	18,436	10,954	39,508		193,370	107,972	370,240
門川町	7,290	3,990	12,599	2,662	63,875	31,504	121,920
美郷町	3,644	2,339	8,911	1,091	22,173	17,027	55,185
諸塚村	3,119	1,272	2,872	504	18,450	5,890	32,107
椎葉村	3,113	1,010	2,757	677	19,140	6,470	33,167
合計	35,602	19,565	66,647	4,934	317,008	168,863	612,619

豆知識!

公会計制度

総合的な財務状況が把握しづらいなどの課題があった現在の地方自治体の会計制度の改革が進められています。企業会計手法の発生主義・複式簿記などを導入し、資産や債務の管理、費用の管理、財務情報の分かりやすい開示などが行われます。

平成19年度の主な事業

○斎場施設事業費

- ・ 斎場炉内耐火物補修工事（新規）
- ・ 火葬炉設備再燃室渦流化導孔取替工事（新規）
- ・ 火葬炉設備保守点検業務委託（新規）
施設供用開始から2年を経過し、施設の保守点検業務が新たに発生したものです。

○ごみ処理施設費

- ・ 清掃センター排ガス処理設備改修工事（1号炉）
排ガス中のばいじんなどをろ過し、きれいなガスを排出する設備のフィルター交換などの改修工事。平成18年度に実施した2号炉に続き1号炉を実施しました。
- ・ 炉内耐火物改修工事

広域連合 議会だより

次回の広域連合議会は平成20年11月20日（木）に開催される予定です。平成19年度決算などが審議されます。

平成20年9月30日現在
広域連合議会議員

- 議長 甲斐 敏彦（日向市）
 - 副議長 内山田善信（門川町）
 - 議員 柏田 公和（日向市）
 - 田原 千春（日向市）
 - 松葉 通明（日向市）
 - 岩切 裕（日向市）
 - 鈴木 三郎（日向市）
 - 江並 孝（日向市）
 - 甲斐善重郎（日向市）
 - 朝倉 利文（門川町）
 - 安田 修（門川町）
 - 日高壽次郎（美郷町）
 - 末永 敏幸（美郷町）
 - 小田 照男（美郷町）
 - 西田喜一郎（諸塚村）
 - 中本 洋二（諸塚村）
 - 甲斐 美義（椎葉村）
 - 椎葉 芳一（椎葉村）
- （選出市町村別、敬称略）

日向市民の皆様へ

年末のごみ受入れのお知らせです

燃やせるごみの受入れは、
12月31日午前中まで

○受入日

年末 12月29日から31日まで
（年明けは、1月4日（日）からです。）

○時間

午前8時30分から正午まで
午後1時から4時まで
（12月31日は正午まで）

○持ち込みできる物

燃やせるごみ、資源物（古紙類のみ）

年末のこの期間は、搬入が多く大変混雑するため、直接搬入される皆様にはご迷惑をおかけします。ごみを出される際には、各ごみステーションをご利用いただくかお早めの持ち込みをお願いします。



直接搬入の際の お願いです

清掃センターへ直接持ち込む場合、次のものは受け入れをお断りしています。

透明袋以外の袋の場合、ダンボール詰めの場合、燃やせるごみと燃やせないごみを混入している場合は、受け入れできません。

また、産業廃棄物は、清掃センターへの持ち込みはできません。



編集後記

苦手なことを得意にするいい手はないか。だれでも苦手はないほうがいい。「失敗をさらけ出せ」どこだったかの壁にかかっていたことばに、なるほど。そうならば、苦手もさらけ出してみようか。人って、苦手があって当たり前です。(K)